

流山とりだより

流山野鳥同好会

No.142

2023年1月10日



広々とした所に1羽佇んでいて、大きい体に鋭い顔つきはインパクトがありました。ほとんど動かないので、望遠鏡でよく観察できました。(12月定例観察会9頁より)

立派な首ひげはまるで仙人のよう。
それにしても、いくら見られているからとはいえ、目つき悪いよアオサギくん。

2022.12.18 野々下地区

撮影：森岩 好明

観察会から

● 10月（第283回）定例観察会 手賀沼

2022年10月16日

相馬利雄

北柏駅には10名の会員と、「我孫子野鳥を守る会」の千葉さんが特別参加、計11名が集まりました。千葉さんとは、先週（10月9日）「我孫子野鳥を守る会」の手賀沼定例探鳥会に参加した際に知り合いました。毎月第2日曜日に開催していて、一般人も参加自由・参加費無料の参加しやすい探鳥会です。事務局を担当されていて北柏にお住まいとのことでした。当会が手賀沼観察会を行うこととお話したところ、案内していただけることになり今回の特別参加が実現しました。

千葉さんの案内で「北柏ふるさと公園」へと向かいました。前日ツツドリがいたとのこと、当会では初めての場所なので期待いっぱいです。ツツドリが好きそうな雰囲気満点の桜の木立、水辺にはコガモが休み、カワセミが「チー」と鳴いて飛んでいきました。あいにくツツドリはいませんでした。また来たい素敵な場所です。

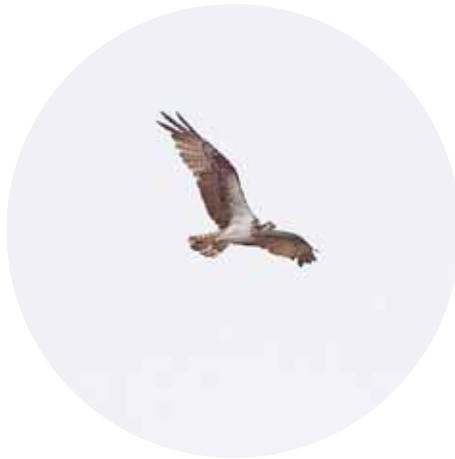
公園を抜け「柏ふるさと大橋」を渡り、いつもの「北千葉導水ビジターセンター」へ進みます。途中コガモ、ダイサギ、そして迫力あるコブハクチョウが5羽もお出迎え。自転車で菊池さんも合流です。突然、猛禽類の飛翔姿、「トビ？」いや「ミサゴ」です。鉄塔をバックに悠然と気持ち良さそうです。こんなに早く出会えるとは嬉しい誤算でした。

「北千葉導水ビジターセンター」に着くと歩道橋からツツドリ探しです。桜の樹上を見下ろせる調度良い高さは、絶好の観察ポイント。しかし残念、先週は見られたのに今日はいないようです。気落ちしながら、はるか遠く95番鉄塔を上から下へ見ていると・・・「カラスか？」。一番上



なんとツツドリが・・・





こんなに早く出会えるとは、



ミサゴです。



95 番鉄塔には・・・

の真ん中よりに後姿のシルエット、猛禽類です。ここはハヤブサのポイント。先週までは見られていなかった「ハヤブサ」が止まっています。間違いありません。正面から見たい思いで、急いで進むことにしました。鉄塔横の展望台付近から、「ハヤブサ」の正面姿をじっくり見ることができました。先週見られなかっただけに、千葉さんも満足そうでした。千葉さんとはここでお別れです。

さらに進むと「ヒドリ橋」の手前の数本の桜に、なんとツツドリが……。空振り続きだったツツドリに会えるとは、鳥見は本当にタイミングですね。目の前で毛虫取りに夢中です。人間様は眼中にない様子、じっくりと大満足の観察ができました。

いつもの場所で昼食を食べ、午後はヘラサギに期待です。先週、ヘラサギが見られた場所を探しましたが、移動範囲が広がったようで今回は見る事はできませんでした。展望台はヘラサギ目当てのカメラマンに占拠されています。階段を上がる事もできず、下から大砲を見上げてそそくさと退散……。ここから折返しになります。

「北千葉導水ビジターセンター」まで戻り、鳥合わせは30種でした。帰路につき、柏ふるさと大橋の上からは、午前に見られなかったカイツブリをじっくり観察することができました。今日は実り多き観察会に、鳥見の喜びを思い出した一日でした。千葉さん、ありがとうございました。





モズ (♂)



モズ (♀)



シジュウカラ



コガモ



オオバン



コブハクチョウ

<編集より>

ハヤブサ、ツツドリ、そしてカイツブリと大満足の観察会でした。そうそうミサゴも忘れてはいけませんね。今日は、鳥との出会いに恵まれた一日でした。

◆観察した鳥

カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、
チュウサギ、コサギ、ミサゴ、トビ、ハヤブサ、コガモ、マガモ、カルガモ、
キジ、オオバン、キジバト、ツツドリ、カワセミ、ハクセキレイ、
セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、
カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

以上 30 種



メジロ



遥か遠くカンムリカイツブリ



残念、今回は見られずヘラサギ



キジ (♂)



チュウサギ



真上から失礼カイツブリくん

◆参加者

赤木成道、落合 聡、菊池則男、菊池和子、相馬利雄、土居正博、
布崎良枝、野間邦夫、森岩好明、矢嶋健司、吉田禮子、
(会員以外 千葉 洋)

以上 12 人

観察会から

● 11月（第284回）定例観察会 西深井・新川耕地 2022年11月20日

若林幹夫

11月の定例観察会は運河駅からスタートして運河水辺公園を西に進み、住宅や畑、林や藪が混在する西深井を通過して、におどり公園から新川耕地にいたるコースでした。9時に運河駅改札前に集合し、下見した相馬さん、落合さんからアメリカヒドリの可能性のある個体が運河にいたこと、新川耕地でコチョウゲンボウが観察されことを聞いた後、旧日光街道（日光街道東往還）を渡って運河水辺公園に向かいました。



わお、ナイスキャッチ！

まずは利根運河でコサギ、ダイサギ、カルガモ、マガモ、コガモ、ヒドリガモ、オオバン、バン、カイツブリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワセミなどを観察。この場所

に限らず、近年の流山周辺の川や水路ではオオバンがよく見られます。ヒドリガモもかなりの数が見られ、土手でも採餌していましたが、アメリカヒドリらしい個体は確認できませんでした。カワセミは複数の個体があり、頻繁に鳴いて飛び、餌を捕らえるために繰り返しダイブする様も見る事ができました。

運河を離れて土手を登ると、少し離れた電線にムクドリ大の鳥が複数見えます。双眼鏡とスコープで見ると、北から渡ってきたばかりのツグミたちでした。さらに進むとジョウビタキ、アオジ、カワラヒワ、シメ、エナガ、シジュウカラなどが次々と現れ、私たちの目と耳を楽しませてくれました。

におどり公園で一息ついた後、猛禽やケリ、タゲリを求めて新川耕地に向かったのですが、その頃からポツポツと雨粒が落ちてきました。数十メートル先の電柱のてっぺんに止まるノスリを観察した後、天候を考慮してケリ、タゲリ、コチョウゲンボウはあきらめ、予定より早めでしたがそこで解散することになりました。運河大橋の下で鳥合わせを行い、その時点で観察できた鳥は31種だったのですが、鳥合わせ終了後に運河対岸の野田側を飛ぶトビを確認し、駅に戻る途中でさらにホオジロとキセキレイが出たので、その日確認できた鳥は最終的に34種になりました。



北から渡ってきたばかりの
ツグミたちでした。



アオジ (♀)



シジュウカラ



カルガモ



ヒドリガモ (♂)



ヒドリガモ (♀)

当初心配されたほど天候も大きく崩れることはなく、風もあまりない中、さまざまな鳥を次々に見ることができた観察会でした。とくに珍しい鳥が見られたわけではありませんが、その季節にその場所で観察できる鳥たちを確認し、自分たちが暮らす街の変化や現状を知ることも、定例観察会の大切な意味だと思います。巨大配送センターだけでなく、キャンプ場の開発などで運河周辺も環境が大きく変わりつつありますが、人間の暮らす環境と野鳥たちの生きる環境が隣り合い、重なり合うこうした場所がまだあることが、市場経済的な価値としては計ることのできない流山の価値であり、豊かさなのだと思います。

<編集より>

そうですね。都心から近距離の割にはまだまだ自然が残っています。著しく進む開発の中で、流山の価値はとても貴重になっていくでしょうね。



ジョウビタキ (♂)



ジョウビタキ (♀)



遠いなあ、ノスリ



コガモ



増えてきたねえ、



オオバンくん

◆観察した鳥

カイツブリ、カウウ、ダイサギ、コサギ、ノスリ、ヒドリガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、バン、オオバン、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
(鳥合わせ後、トビ、ホオジロ、キセキレイ)

以上 31 種 + 3 種 = 34 種

◆参加者

赤木成道、落合 聡、菊池和子、菅野文夫、相馬利雄、土居正博、野間邦夫、森岩好明、山下直樹、吉田令子、若林幹夫

以上 11 人

観察会から

● 12月（第285回）定例観察会 野々下・総合公園 2022年12月18日

落合 聡

2022年最後の観察会は、野々下と総合公園で行われました。ホームページ等を通じて参加申し込みをされた方も多く、9名の方に初参加していただきました。多くの野鳥を観察でき、初参加の方はもちろん、常連の会員も楽しめた充実の観察会となりました。

9時に豊四季駅集合。初参加の方と会員がそれぞれ自己紹介をして、当会の説明をした後、野々下水辺公園へ向かいました。その途中、市街地を歩いていると、早速ムクドリとヒヨドリが飛んでいました。木にはキジバトが止まっていました。身近な鳥でも初めて双眼鏡や望遠鏡で見た方は、感動されていました。私も初心を思い出しました。

野々下水辺公園に着くと、広場にセグロセキレイが2羽いました。せわしなく歩き回り、望遠鏡より双眼鏡の方が観察しやすかったです。

公園内では上空を飛ぶタカの姿が目に入りました。双眼鏡で見るとハイタカの幼鳥でした。真上まで飛んで来て飛翔姿をよく観察できました。序盤からタカが見られ、誰もが興奮しました。

公園を抜けて坂川に出ると、コガモ、マガモ、カルガモ、オオバンなどの水鳥を観察しました。コガモとマガモのオスは、光が当たると頭部が緑や紫に輝き、とても美しかったです。

この先の坂川は護岸工事をしているため、水辺公園の裏から坂川の支流沿いを歩きました。近くの畑にはハクセキレイがいて、先ほど見たセグロセキレイとの違いをよく観察できました。川沿いは木の葉や枝に覆われていましたが、シジュウカラの群れをよく見ることができました。また、一瞬でしたがジョウビタキやカワセミも見られました。

坂川を後にして森や畑がある里山を歩いて行きました。真っ先に見られたのはアオサギでした。広々とした所に1羽佇んでいて、大きい体に鋭い顔つきはインパクトがありました。ほとんど動かないので、望遠鏡でよく観察できました。この後しばらく歩きましたが、なかなか鳥の姿は見られませんでした。しかし、モズがよく鳴いていたので、初参加の方は鳴き声を覚えるよい機会になったと思います。

総合公園に着いたら、調整池でゆっくり水鳥を観察しました。コガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロなど多くのカモ類が見られました。また、カイツブリ、オオバンも多くいました。色々な種類がいて、カモ類はオスとメスで色や模様が違い、識別が難しかったと思いますが、初参加の方も楽しく観察できました。池の周囲では、カワラヒワが木の天辺に止まり、藪の中からウグイスの地鳴きが聞こえました。



一瞬見られた「カワセミ」



ハイタカの幼鳥



コガモ (♂)



1羽佇むアオサギ

総合公園内に入り、広場でコゲラの声を聞いたところで終了となりました。そして、鳥合わせを行い、見たり声を聞いたりした鳥をチェックすると、27種類でした。するとその直後、小鳥の混群が目の前までやって来ました。エナガを筆頭に、ヤマガラとメジロがいました。この3種は本日初だったので、チェックリストに追加されて30種類となりました。鳥達は、最後の最後まで私たちを楽しませてくれました。こうして2022年最後の観察会も無事に終了しました。2023年も沢山の鳥達と、鳥好きな人達に出会えることを願っています。

<編集より>

昨夜の雨があがり開催できてよかったです。9名の初参加の方、お疲れさまでした。

<初参加の皆さんの感想です>

- ありがとうございました。アオサギ、しょっちゅう見ていましたが、高機能レンズで見たらあんなにカッコイイ生き物なのだと驚きました。非常に良い機会をありがとうございました。
(吉村淳子さん)
- 初めての観察でしたがとても楽しかった。お世話になりました。ありがとうございました。
(伊東 孝さん)
- 色々な事が分かりとても有意義な時間でした。又参加したいです。
(牧田浩美さん)
- 元々山を歩くことが好きで楽しみが又増えました。
(牧田久寿さん)
- 鳥をたくさん見ることができ、名前や特徴を教えてくださいありがとうございました。自分でも今日のコースをもう一度まわってみます。
(今泉好美さん)
- ふだん自分でみつけても名前と種が分からなかったのが、教えていただけでよかったです。望遠鏡も自身のだといまひとつの見えでしたが、見せていただけでキレイにみえました。優しくご親切に接してくださりありがとうございます。
(今泉 毅さん)
- 鳥の名前や特徴を知ることができ、撮影が楽しめました。ありがとうございました。
(山中米明さん)



マガモ (♀)



マガモ (♂)



混群の中のエナガ

●今日は丁寧な解説ありがとうございました。皆さん、とても親切に接して頂きました。セグロセキレイ、ハシビロガモ、初めて見ました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

(服部雅子さん)

●倍率のたかい望遠鏡で間近に見ることが出来、いつもみなれているアオサギにも感動しました。落合さんの判断力にびっくりです!!

(服部洋之さん)

◆観察した鳥

カイツブリ、アオサギ、ハイタカ、コガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、オオバン、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

以上 30 種

◆参加者

赤木成道、落合 聡、菊池則男、菊池和子、菅野文夫、相馬利雄、土居正博、布崎良枝、野間邦夫、森岩好明、山下直樹、矢嶋健司、吉田禮子、若林幹夫
(会員以外 吉村淳子、牧田浩美、牧田久寿、服部雅子、服部洋之、今泉好美、今泉 毅、伊東 孝、山中米明)

以上 23 人

◆鳥だより——フィールドノート拝見

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
 今回の鳥だよりは、これまでのメールでの投稿だけでなく、流山野鳥同好会ホームページの「鳥だより」に投稿された情報も加え、充実したものとなっています。
 秋から冬となり、流山でも冬鳥がまた見られる季節になってきました。再開した観察会でこれから見られる鳥も楽しみです。今後もみなさんの投稿をお待ちしています。

新川耕地・江戸川地区

- | | |
|--|------|
| 10月 2日 …チョウゲンボウ (3)、ダイサギ、アオサギ、チュウサギ、カルガモ、カワウ、コガモ、モズ | 若林幹夫 |
| 10月 9日 …コサギ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、カワセミ、モズ | 若林幹夫 |
| 10月 15日 …アオサギ | 落合 聡 |
| 10月 20日 …ノスリ | 野間邦夫 |
| 11月 4日 …チョウゲンボウ (♀若鳥) | 落合 聡 |
| 11月 6日 …イソシギ、カルガモ、コガモ、ダイサギ、アオサギ、コサギ、カワウ、モズ、ハクセキレイ | 若林幹夫 |
| 11月 12日 …コチョウゲンボウ (♀成鳥) | 落合 聡 |
| 11月 13日 …コガモ、カルガモ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、タシギ、ケリ (5)、カワセミ、モズ、
タヒバリ、ヒバリ | 若林幹夫 |
| 11月 14日 …ノスリ | 野間邦夫 |
| 12月 3日 …ハイタカ (幼鳥) | 落合 聡 |
| …ケリ (8)、タゲリ (0) | 相馬利雄 |
| 12月 4日 …ケリ、チョウゲンボウ (♂成鳥) | 落合 聡 |
| 12月 25日 …カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オオバン、カワウ、ケリ、カワラヒワ、シジュウカラ、
ホオジロ、モズ、スズメ、ヒヨドリ、ムクドリ | 若林幹夫 |

利根運河地区

- | | |
|-----------------|------|
| 10月 20日 …ジョウビタキ | 野間邦夫 |
| 11月 26日 …キセキレイ | 野間邦夫 |

新川耕地・江戸川地区



アオサギ 2022.10.15 落合



チョウゲンボウ (♀若鳥) 2022.11.04 落合



コチョウゲンボウ (♀成鳥) 2022.11.12 落合



ハイタカ (幼鳥) 2022.12.03 落合



ケリ 2022.12.04 落合



チョウゲンボウ (♂成鳥) 2022.12.04 落合

12月 9日 …ジョウビタキ (♀)、シジュウカラ、メジロ、スズメ
12月 11日 …モズ、ジョウビタキ (♀)、シジュウカラ、メジロ、スズメ
12月 12日 …ジョウビタキ (♀)、シジュウカラ、メジロ、スズメ

森岩好明
森岩好明
森岩好明

豊四季地区

9月 29日 …キビタキ
10月 19日 …トケン類
10月 22日 …ヒヨドリ of 群れ (20羽±)
10月 24日 …ジョウビタキ
10月 28日 …アオジ

吉田禮子
吉田禮子
吉田禮子
吉田禮子
吉田禮子

上新宿・北小屋・若葉台地区

9月 29日 …サシバ

若林幹夫

江戸川台西・富士見台・中野区木地区

10月 8日 …ツミ (♀)
11月 5日 …ヤマガラ
11月 6日 …ジョウビタキ (♀)
11月 7日 …アオジ
11月 12日 …ヤマガラ

若林幹夫
若林幹夫
野間邦夫
若林幹夫
若林幹夫

柏の葉公園地区

10月 1日 …キビタキ、エゾビタキ、メジロ
10月 2日 …キビタキ、エゾビタキ
10月 3日 …エゾビタキ
10月 11日 …エゾビタキ

森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明

手賀沼

12月 11日 …ミコアイサ

相馬利雄



チョウゲンボウ 2022.11.26 菊池



ヒヨドリ 2022.11.28 森岩



メジロ 2022.11.28 森岩

柏の葉公園地区



スズメ 2022.11.28 森岩



ジョウビタキ (♀) 2022.12.11 森岩



エゾビタキ 2022.10.11 森岩

水元公園

11月27日 …アメリカヒドリ

相馬利雄

浦安三番瀬地区

10月20日 …カワウ、チュウサギ、コサギ、ヒドリガモ、ホシハジロ、スズガモ、イツシギ、ウミネコ、セグロカモメ、ハクセキレイ

森岩好明

10月30日 …カンムリカイツブリ、カワウ、コサギ、ヒドリガモ、オナガガモ、スズガモ、オオバン、キアシシギ、ウミネコ、セグロカモメ

森岩好明

12月10日 …ウミアイサ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、アオサギ、コサギ、ヒドリガモ、オナガガモ、スズガモ、ホオジロガモ、オオバン、イツシギ、ハマシギ、ウミネコ、セグロカモメ、ハクセキレイ、タヒバリ

森岩好明

★「鳥だより」をお寄せください。

【通勤、買い物途中などで見かけた鳥の身近な観察情報、初認情報などをお待ちしています。

【連絡先】若林幹夫 〒270-0127 流山市富士見台1-367-49 FAX:04-7154-6339

e-mail:mikio-wa@rf6.so-net.ne.jp

次号の「鳥だより」は3月20日までお願いします。

★引続き「鳥見ばなし」も随時募集中です。

つれづれなる鳥談義、プライベートな鳥見ばなし、ほんの身近なちょい話し、なんでも結構です。

【連絡先】相馬利雄 〒270-0163 流山市南流山6-27-11 FAX:04-7159-0972

e-mail:toshio@sanposha.co.jp

浦安三番瀬地区



ウミネコ 2022.10.30 森岩



セグロカモメ 2022.10.30 森岩



ウミアイサ 2022.12.10 森岩



カンムリカイツブリ 2022.12.10 森岩



ホオジロガモ 2022.12.10 森岩



ハマシギ 2022.12.10 森岩

◆ 今後の行事予定

● 1月(第286回)定例観察会

日時：1月15日(日曜日)
場所：利根運河・新川耕地
集合：運河駅 改札口前
解散：12時ころ
持物：弁当なし

新年初鳥見です。今年の鳥運はどうでしょうか？

担当：相馬
9:00～12:00

午前9時(雨天中止)

● 2月(第287回)定例観察会

日時：2月19日(日曜日)
場所：大畔・市野谷・水鳥の池
集合：初石駅 改札口前
解散：12時ころ
持物：弁当なし

新企画の初コースを観察します。思わぬ出会いに心ワクワクです。

担当：菅野
9:00～12:00

午前9時(雨天中止)

● 3月(第288回)定例観察会

日時：3月19日(日曜日)
場所：利根運河・理窓公園
集合：運河駅 改札口前
解散：12時ころ
持物：弁当なし

自然豊かな利根運河。春の気配を味わいましょう。

担当：落合
9:00～12:00

午前9時(雨天中止)

● 4月以降の定例観察会は、「流山とりだより4月号」又は、ホームページにてお知らせします。

★令和5年度分の会費納入についてのお願い★

1月中に年会費2,000円を同封の払込票にて下記口座へお振込み下さい。
(ただし、家族会員は無料です。)

郵便振替口座：00130-3-608241 流山野鳥同好会

◆ チェックリストを同封しました。

今年度の半年分です。鳥合わせにご利用ください。

◆ 新入会員の紹介

伊東 孝さん
牧田浩美さん
牧田久寿さん

● よろしくお願ひします。



◆ 令和4年12月25日現在の会員数

単体会員 34名 家族会員 14名 合計 48名

流山野鳥同好会会報 No. 142 2023年1月10日発行(年4回発行1月・4月・7月・10月)

発行人 相馬 利雄

連絡先 〒270-0163 千葉県流山市南流山6-27-11

TEL・FAX：04-7159-0972

郵便為替口座 加入者名「流山野鳥同好会」口座番号：00130-3-608241

流山市文化団体登録番号：北部04037